



那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



初任者研修「実践力を高める」ために

所長 田中 浩三

初任者研修の目的に「実践的な指導力と使命感を養うと共に幅広い知見を得させる」とある。当研究所ではこの目的を遂行するために、本年度四月より多くの研修を実施してきた。中でも実践的な指導力を高めるために「活用する力を育む授業」や「道徳の授業」等の理論研修だけでなく、グループ協議による指導案づくりを通じた研究授業等を実施してきた。また、先輩教師の授業参観等からも多くを学んできた。それらの様子は、研修が終わる度に提出されている「校外研修記録簿」に各々の研究授業等における学びが詳細に記載されている。

そこでそれらの中から、初任者が実践力を身につけるために努力していることや学びの様子を紹介したい。

●**数学研究授業より**…発問はすぐに答えを求めるのではなく、問を与えたり書く活動やペア・グループ学習により思考を深めたりしていくことがわかった。評価方法では一時間の中で評価は多くても二つまでとし、授業の中では発表、ノート記述、机間指導を通して見取り、テストだけでなく提出物や自己評価からも見取ることが大切とわかった。今回の研修で研究意欲を高め、書物を読んだり授業参観を通して指導力を向上させたりすることの重要性を実感した。

●**道徳研究授業より**…特に二つのことが印象に残った。一つは中心発問と補助発問のつながりである。二つ目は授業構成のよさである。中でも計画したことが時間内に終われたこと、視覚に訴える絵の効果的活用、発問等による思考の整理のさせ方等は勉強になった。また終末では追求した価値を確認し、行為への意欲づけを図って終わることが大切であることを学んだ。

●**特活研究授業より**…授業では学級会ノートやネームプレートを活用して子どもの意見を引き出していた。自分とは違う意見に対してもしっかりと耳を傾けて聞く姿勢や認め合う雰囲気がつくられていて、お互い意見を言い合い、認め合いながら集団決定ができていて感動した。今後は、子ども達への賞賛をより多くし、発表しやすい雰囲気工夫したり、普段の関わりを大切に子どもと向き合ったりして安心して学級活動ができるようにしていきたい。

これまで研修に参加する度に、初任者の前向きで真剣な眼差しと仲間と協力しながら切磋琢磨して学んでいる様子に「初任者研修」の意義を深く感じてきた。今年も残りわずかであるが、初任者研修が順調に推移してきたのもこのような初任者の真摯な態度と関係者の皆様のご協力・ご支援によるところが大きい。感謝したい。

次年度教育研究員 募集中!

●「教育研究員の実践的研究・研修を行い、教員の資質の向上を図り本市学校教育の充実に資する」ことを趣旨として、平成26年度教育研究員の募集が始まりました。平成26年3月末現在、那覇市立幼稚園・小・中学校の職員で、教職経験3年以上の先生方が応募できます。

第101期 研究員 中間検討会①・指導案検討会



池田尚子

研究内容にまとめた事柄と「思いや考えを表現する」というテーマとの繋がりがわかりにくいこと、思いや考えを持たせるための最初の手だてがわかりにくいことを指摘されました。根拠をしっかりと書いて論述できるように、研究内容の見直しと推敲を行っていきたいと思います。



新里和也

「多様な見方」をどう捉えるのか。みんなの考えを知ることが多様なのか、調べたことから社会的事象について考えたことが多様なのか、「多様な見方」が友だちの意見をたくさん聞くこととは言えないということ整理して研究を進めていきたいと思っています。



村吉優子

「経験と重ねた読み」を行う際に、何にも経験がないという子への手立て、経験を思い起こしやすくするような手立てがまだ足りません。また、仮説の検証場面对する計画も曖昧であったので、仮説をどこどのように検証していくのかをこれから見直そうと思います。



山里 毅

考えさせる視点やグループで練り合う視点の持たせ方、ワークシートに書かせる視点や生徒の変容の見取り方などたくさんの課題があった。生徒の考え方が脱線しないように、数学の舞台で考えることができるように、しっかり手立てを考え授業を行うことが大切だと思った。

第13回 初任者研修

11月28日(木) グループ研究③特別活動グループの代表授業と授業研究会が行われました。

小緑南小	大城このみ	教諭(4年)
石嶺小	下里 和也	教諭(4年)
寄宮中	大城 千佳	教諭(1年)
神原中	與儀 愛	教諭(1年)



教職10年経験者研修



1人2回の主事要請研究授業が進められています。授業研究会では校長先生や教頭先生にもご参加いただき、活発な意見交流が行われています。



教育研究員 豊かなコミュニケーション 所内講座

11/22(金)

佐渡山先生の声の出し方は自分の声の出し方と全く異なり、いかに自分を意識せずに話したり動いたりしていたのかがわかりました。声の出し方を意識するだけで、子ども達への話の仕方や、絵本の読み方も変わってくると思われるため、発声練習は続けていこうと思います。(池田)



佐渡山
美智子さん

佐渡山さんの講話は私たち全員の目をしっかり見ながら、聞きやすい声で表情も良くすごく感動しました。授業をするときの参考にしたいと思います。コミュニケーション能力は教師にとって子どもと信頼関係をつくる大切なものなので、今日の講座の内容をしっかり実践していきたいです。(新里)

今日のお話を聞いて、一人ひとりを大切に、敬意を持って接することの大切さを痛感しました。遣う言葉を大切に、そして丁寧に人と接することを心がけていきたいです。学級の子ども達に対しても、大人としてのよいコミュニケーションのお手本になればと思います。(村吉)

上手に話そうということよりも、伝えようという意志や気持ちが大切であるということもためになりました。佐渡山さんは本当にプロだなと思いました。まず身だしなみや笑顔やしぐさ、人の接し方などすべてが見本となるものばかりでした。(山里)



今月のお勧め

『活用型学力を育てる授業づくり
思考・判断・表現力を高めるための指導と評価の工夫』
木原俊行 著 ミネルヴァ書房 2011

学習指導要領に記載された「活用型学力」単なる反復に終わらない、「教えて、考えさせる」授業がもたらす可能性とは。新たな取り組みとして注目を集める「活用型学力」の実践例を通して、今後の教育の課題や展望を考える。

【ミネルヴァ書房 HP より】



『「単元を貫く言語活動」
授業づくり徹底解説&実践事例24』
水戸部修治 編著 明治図書 2010

付けたい力にふさわしい言語活動を選ぶことが難しい／単元構想のイメージはつかめてきたが本時の発問や指示など指導のポイントが分からない／特に教科書を読む段階では場面ごと・段落ごとに読み取らせるだけになってしまう／本書はそうした課題に対応すべく編んだ。

【明治図書 HP より】



平成26年度 教育研究員募集のお知らせ 2/7(金)×切り

第102期【前期】 平成26年4月1日から6ヶ月

第103期【後期】 平成26年10月1日から6ヶ月

募集要項でお確かめください。※ 那覇市立教育研究所HP または Desknet's に掲載

研修の流れ

理論研究



研究内容の検討



検証授業



成果報告会



その他、多くの研修や講座があります。